

★2010年度教会訪問を始めました。

前号でご案内致しましたが、今年から三年計画で県内全域の教会を順次訪問させて頂く計画をいたしました。

まず盛岡市内訪問として、前回訪問した市内の教会の古い順から3分割し今期6教会を5月から6月にかけて訪問させていただきました。どの教会も実務委員会再発足2回目の訪問で、親しみをこめて暖かく迎えて下さり本当に励まされました。また今回特に「ケアホーム建築のために」募金箱を置かせて頂きましたところ、皆様大変ご協力下さり、販売と共にお力添えをいただきました。「ケアホーム建築のために」6教会合計44,850円お捧げ頂きました。

7月から今年には県内教会のうち日本基督教団の11教会（盛岡市内教会を除く）を訪問させて頂きたいと該当教会へお願いをしているところです。お尋ねして顔を合わせ、カナンの園の現状をお伝えしてお祈りとお理解、ご支援を頂きたいと願っています。

★機関紙の新しい読者を求めています！（無料）

近年読者の高齢化、お引越など様々な事情でご愛読下さる方が減少しています。お知り合いの方、新しく読んで下さる方をどうぞご紹介ください。

★「ケアホーム建築」のためにご寄付を有難うございます。

6月末現在総額2,086,111円（今年2棟募金目標額2千万円）です。

現場では今

児童施設 奥中山学園

奥中山学園は、カナンの園最初の施設として1973年4月に開所、今年で38年目を迎えています。開設時から、「家庭を離れて暮らす子ども達の生活の場」ということを意識し、生活空間や勤務形態なども出来るだけ「家庭に代わる場」に相応しいものを求め続けて来ました。特に、「施設生活」の代名詞とも言える〈交代勤務〉や、〈大集団での生活〉を、仕方がないとあきらめることをせず、子ども達の様子に学びながら、工夫を重ねて来ました。例えば、「おはよう」「いってらっしゃい」「おかえり」「おやすみ」を出来るだけ同じ大人とやりとり出来るような交代の少ない〈連続勤務〉を取り入れていたり、敷地内・外で独立した1軒家での少人数の生活を試行したりしました。そのような中で、施設の老朽化に伴う建替えの時期を迎え、皆で協議を重ねながら、敷地内に小規模な「家」を分散して建て、それぞれが「近所付き合い」をしつつも可能な限り独立した生活を営む「小舎」での運営をすることにしました。そして2006年12月に、現在の新園舎が完成したのです。この建替えは、自分たちの思いだけで実現出来たものではなく、関係者はもちろん、全国の支援者の方々からの暖かいご支援があって初めて実現したものだ、ということをお話しています。

出会いが与えられ、縁あって奥中山学園で暮らすことになった子ども達一人ひとりにとって、学園での暮らしがかけがえのないものとなり、仲間との豊かな交わりと共に、希望ある大人の暮らしへの橋渡しが出来れば良いな、と願っています。（園長 佐藤真名）

【奥中山学園敷地内配置図】



予告

カナンの園現地見学会ご案内

今年も初秋の奥中山現地施設見学会をいたします。

日時 9月 4日（土）

9：00～16：00

集合 8：50 ヒソブ工房

参加費：昼食代 約700円

奥中山は自然の広がる癒しの里。そこで生活し働く利用者と職員の元気な姿を是非ご覧になってください。支援して下さいのカナンの園を具体的に観て頂きたいと願っています。

★別紙ご案内を後日お送りいたしますのでご覧ください、奮ってご参加ください。

募金のお願い

いつもカナンの園の働きを覚えお祈りや具体的なお支えを本当に有難うございます。

カナンの園では「ケアホーム建築のため」以外にも、利用者により良い事業を提供するため、法人の働きを皆様のお力を頂いて運営しています。その他様々なところで多くのお支えを必要としています。更なるご支援をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

<募金の方法は>

- 募金袋（教会・近隣の方）
- 募金箱（店舗や教会などに）
- 郵便振込（振込用紙あり。或いは上記口座番号に）